

地域リハビリテーション支援センターの事業計画について②（区西部）

新宿区・中野区・杉並区

1 選定病院

慶應義塾大学病院（新宿区）

所在地：東京都新宿区信濃町35

2 事業計画と選定委員会での評価結果

小項目		事業計画					
必須の役割	地域リハビリテーション力の向上	(1) OT・PT・ST等対象の症例発表会など ・リハ関連職種を対象とした摂食嚥下リハ、がんリハ、呼吸リハ、心臓リハ、高次脳機能障害、地域リハ、災害リハに関する研修会の開催（5回/年） (2) かかりつけ医へのリハビリテーション知識・技術情報提供 ・かかりつけ医を対象とした筋電図、がんリハ、摂食嚥下障害、地域リハ、災害リハに関する研修会等の開催（4回/年）					
	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	(1) リハビリテーション施設従事者とケアマネジャーとの交流の場の設定 ・老人保健施設や訪問看護ステーションなどに所属するリハ関連職種を対象とした情報交換会の開催 ・老人保健施設や訪問看護ステーションなどに所属するリハ関連職種を対象とした摂食嚥下リハ、がんリハ、呼吸リハ、心臓リハ、高次脳機能障害、地域リハ、災害リハに関する研修会の開催（3回/年） (2) ケアマネジャーへの研修 ・老人保健施設や訪問看護ステーションなどに所属するケアマネジャーを対象とした摂食嚥下リハ、がんリハ、呼吸リハ、心臓リハ、高次脳機能障害、地域リハ、災害リハに関する研修会の開催（3回/年） (3) ケアプラン相談支援 ・個別対応 随時					
	地域リハビリテーション関係者との連携強化	(1) 設置を予定する地域協議会（連絡会） ・区西部地域リハビリテーション連絡会（2回/年）					
選択する役割	(1) 区市町村による在宅リハ支援事業等への支援 ・リハビリテーション連携検討会への協力 ・介護予防事業にリハ専門職を派遣 ・座長、スーパーバイザーとしての参加 ・研修会資料作成、研修会開催等						
【評価結果】							
評価項目	地域リハビリテーション力の向上	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	地域リハビリテーション関係者との連携強化	事業実施内容等（選択する役割）	これまでの取組状況（実績等）	小項目合計	総合評価
点数	4.00	3.83	3.83	4.17	4.17	20.00	4.17

3 区市町村・地区医師会への意見聴取

区分	区市町村		地区医師会	
	有 1か所	無 2か所	有 1か所	無 2か所
現在の連携状況	<b>【連携内容】</b> ○新宿区 ・新宿区では、リハビリテーションの連携体制について総合的に検討するため、平成21年度「リハビリテーション連携検討会」を設置。その後平成23年度からは摂食嚥下機能支援を切り口とした連携体制を構築するため「摂食嚥下機能支援検討会」を設置した。いずれの会議においても、地域リハビリテーション支援センターの医師に、座長及び委員としてご協力いただいたことで新宿区におけるリハビリテーション連携体制は整いつつある。 ・今後は、これまで培ってきた連携体制を活かしながら、新たなテーマで地域におけるリハビリテーションの連携体制についてご協力いただく予定である。		<b>【連携内容】</b> ○新宿区医師会 ・新宿区と医師会が協働して行う課題別連絡会議で「地域リハビリ」を取り上げ、慶応大学病院、国立国際医療研究センター病院リハビリ科を中心に病院から退院して地域へ戻る際のリハビリに関する様々な問題点につき議論し、課題を共有した。 ・現在は新型コロナウイルス感染症により休止していますが、月1回実施している摂食嚥下研修では多職種が出席し、実際の患者さんの検査診療から診断をして、リハビリケアについての意見交換を行っている。 ・今後はICTを通じて情報共有していく体制について検討していく。	
指定に對する意見	○新宿区 ・コロナ禍におけるフレイル予防など、地域におけるリハビリテーションはますます重要となっている。テーマに応じた体制の構築や、医療・介護従事者への研修による支援者のスキルアップ等に引き続きご協力をいただくとともに、理学療法士等の地域での育成や活用については課題となっているため、検討にご協力いただきたい。 ○中野区 ・慶應義塾大学病院は、支援センターの再指定病院であるため、過去の経験を生かし、協力病院等と連携しながら、リハビリテーションを必要とする区民に対して支援できるよう更なるシステム構築を行うことを期待いたします。		○新宿区医師会 ・上記会議で抽出された課題、多疾患（循環器、呼吸器、認知症など）を共有する高齢者入院の6-7割はリハ不十分なまま地域へ戻る。病院と地域でリハビリが途切れぬよう、ぜひ今後も強い連携と情報共有（特にPTからの）をお願いしたい。	
事業計画に對する意見	○新宿区 ・多くの連携会議や研修会が予定されている。コロナ禍であるためリアルでの開催は難しいが、リアルでないと伝わらないこともあるため、テーマや内容によって方法を工夫することで、関係者の連携強化やスキルアップに繋がる企画をお願いしたい。 ○中野区 ・大規模災害が起こる可能性が高まっているなか、災害時に行うリハビリテーションについて、関係者に心構えや知識、技術等が浸透するよう研修等の実施を要望します。		○新宿区医師会 ・2019年からは新型コロナウイルス感染症に翻弄される中で、感染した高齢者をいかに地域に円滑に戻すかという課題が浮かび上がっている。これについてもぜひ検討をお願いいたします。	